

©吉野信

これまでの課題

トラの密度の高い中央インド全体に活動を広げること。生息地の喪失、分断化、家畜被害を原因としたトラへの報復を避けるためにコリドーを守ること。温暖化による森林火災や水不足に対処する体制を整えること。

Achievement 成果

1 森林火災の拡大防止にリーフブローアと装備を贈呈

インドではここ数年の倍近い件数の火災が起き、昨年は21.4%の森林が消失。そこで火災の拡大防止に葉っぱを吹き飛ばすリーフブローア4台と20リットル入りタンク20個をパンダブガール・トラ保護区へ贈呈。



2 人と野生動物との対立への取り組みとして新たにコリドーを守る組織を認定

中央インドでは2021年に127頭のトラが死亡。この地域ではトラの個体数が急激に増えており、生息地不足から縄張り争いで死ぬ場合もある一方、罠や意図的に動物を感電死させる密猟も多い。そこで、地域住民を「みどりのコリドーの守り手」に認定、コリドーの監視と保護に取り組んでもらう。



3 新野生生物保護区の水飲み場に水を汲み上げる太陽光発電式のポンプを設置、トラの利用も確認

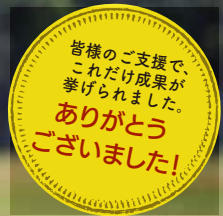
新たに指定されたカンハルガオン野生生物保護区の支援を開始。この保護区は、トラの生息密度が非常に高い2つ（タドバ・アングリとカワル）のトラ保護区をつなぐコリドーとなっており、若トラの分散や、なわばりを持たない放浪トラが行き来する中継地として非常に重要。ここ数年、雨が少ないため、トラや他の野生生物のために設置した水飲み場に太陽光発電式ウォーターポンプを設置。8月にはトラや他の草食動物が池にやってくるのを確認。



残された課題

地球上にいる野生のトラの3分の2がインドに生息していますが、人とのトラブルが増加する一方です。森林局スタッフや地元の人たちと協力して、トラが移動できるコリドーを守る活動をさらに発展させること、森林火災への対処が急務です。

引き続きのサポートをお願いします。



©吉野信

南インド・ケララ・アジアゾウ保護プロジェクト

国内象牙市場閉鎖プロジェクト

これまでの課題

アジアゾウの中では最高の条件が残されてきたこの地も水田や、バナナ、ココナツヤシ、コーヒーなどの農園で、ゾウの生息地の森林が分断されつつあるため、ベルト状に残された森をゾウがコリドーとして移動できるように守ることが必要。

Achievement 成果

- 1 ワヤナッド野生生物保護区スタッフにパトロール用装備を提供。現場を実際にパトロールし、密猟、盗伐、森林火災などに目を光らせている保護区スタッフたちに、**116本の懐中電灯、124個のパトロール用ザックを贈呈。**



- 2 ケララ州の政策形成に大きな影響を与えるメディアへの働きかけ。2022年8月11日、世界ゾウの日（毎年8月12日）を記念し、**ケララ州のメディア関係者を招いた会議を開催し、ケララ州におけるゾウの通行の安全をはかることを積極的に報道した若いジャーナリストに「ゾウの友賞」を贈呈。**また、ケララ州におけるゾウのコリドーを広報するポスターも公表。



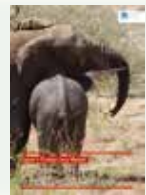
©吉野信

これまでの課題

国内象牙市場閉鎖がゾウの保護に急務だと海外の認識は高まっているものの、いまだ閉鎖に向かおうとしない日本政府に、全方位から圧力をかけ、市場を閉鎖させなければならない。

Achievement 成果

- 1 東京都「象牙取引に関する有識者会議」に働きかけ、象牙取引を規制する条例の検討を求める提言を採択させる
2020年に開始された東京都有識者会議。東京都独自の象牙取引規制を知事に提言することが期待されていた。最終段階では、提言自体が見送られそうな事態となったが、JTEFは海外8団体との連名で、小池都知事に対し、提言とりまとめに向けて適切な対応を要請する書簡（英日）を送付。その結果、3月に開催された最終会合で、**「象牙取引がゾウの密猟や違法取引に寄与しないようにするために、条例又はその他の効果的な方法を検討されたい」という提言を採択。**
- 2 日本等の市場未閉鎖国がかかわった象牙押収データにワシントン条約会議の注目を集め、国内象牙市場閉鎖を一步進展させる
2022年3月、フランスのリヨンで第74回常設委員会（SC74）が開催され、オブザーバー参加したJTEFは**会議の合間に世界のNGOと協力し、関係国に日本の国内象牙市場の問題点を説明した。**審議の際には、**17のNGOを代表して発言。**EUが、（日本を含む）象牙市場を閉鎖していない国が関係する象牙の押収データを条約会議で共有することを求めた。
- 3 日本の象牙業者が国内取引規制の抜け穴を巧みに利用していることを最新のデータで実証
報告書「日本の象牙市場は衰えを知らず一厳しい規制に煩わされることのない取引業者の別天地」を常設委員会の前に公表。



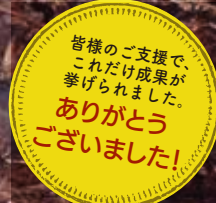
残された課題

世界のアジアゾウの4分の1が生息する南インド。JTEFはゾウが行き来するための森林=「コリドー」をしっかり守っていきます。

残された課題

日本は、現在も国内象牙市場を維持する姿勢を崩しません。2022年11月にパナマで開催される第19回ワシントン条約締約国会議で世界のNGOと協力し、日本政府が象牙市場を閉鎖せざるを得ない状況へと、さらなる圧力をかけていきます。

引き続きのサポートをお願いします。



©村田行

これまでの課題①

ヤマネコの交通事故

7月まで無事故だったヤマネコの交通事故が、8月1、2日と連続で兄弟と思われる仔ネコ2頭の死亡事故発生。新型コロナウイルスの緊急事態宣言後で交通量も増加。

Achievement
成果

1 ヤマネコの目撃多発地点で注意喚起を定期的 to 実施
事故現場近くで親ネコと思われるネコの出没が続き注意喚起を行った。その後もLEDライトの点灯で光る看板や、のぼりも導入。目撃多発地点での注意喚起を定期的に行う。



2 県道の除草作業実施
ヤマネコの目撃多発地点での除草作業の継続。環境省職員、パークボランティアとの合同除草作業も恒例となり、今年度は特にヤマネコの目撃情報が多く、雑草が繁茂しやすい地域を集中的に作業。



3 ヤマネコのいるくらし授業
教員研修会実施
西部の小中学校だけでなく、東部の大原中学校でもヤマネコ授業を実施。教員研修会(竹富町教育委員会と共催)もオンラインにて実施。



4 竹富町条例で定めた「イリオモテヤマネコの日」(4月15日)オンラインイベント開催
今年度は「知ろう!守ろう!イリオモテヤマネコ」(後援:環境省西表野生生物センター、竹富町教育委員会)を、クイズや動画を交えてオンラインで開催。



これまでの課題②

生息地のかく乱

西表島が世界自然遺産へ登録され、懸念される将来的な観光客増。だが、ツアースポットへの人数制限はまだ実施されず、入島観光客数の制限が実現するかどうか不明。



Achievement
成果

1 世界自然遺産登録に伴うオーバーツーリズム対策について政策提言
沖縄県による観光管理計画が西表島に入る観光客の総量規制を事実上放棄したことが深刻な結果を招き得ることを指摘し、具体的な対策案を提言。

残された課題

今後の観光客増加に向け、ヤマネコの交通事故の増加を防がなければなりません。また、オーバーツーリズム対策として実効性を持ったものとなるよう、地元の人々と協力し行政への働きかける必要もあります。このような動きを教育を通じて島の子どもたちに考えてもらうことも重要です。そのために、やまねこパトロールの装備を大幅にリニューアルするとともに、活動体制の強化をはかる必要があります。

引き続きのサポートをお願いします。



2021年度にJTEFが行った支援

(2022年10月19日時点。管理費を除く)



・中央インド・トラ保護プロジェクト	¥3,930,145
・南インド・ケララ・アジアゾウ保護プロジェクト	¥3,773,165
・やまねこパトロールの活動費	¥5,950,326
・政策提言事業(国内象牙市場閉鎖など) 教育普及事業(トラ保護冊子の作成普及など)	¥3,592,007

*JTEFは、個人サポーターの方々からのご寄付の他、チャリティー・イベントでのご寄付、法人・団体からのご寄付、助成金で運営されています。
*最終的な決算(2021年11月1日～2022年10月31日)の内容は、2023年2月発行予定の「年次報告書」でご報告します。

イベント報告

クラウドファンディング

2021.11.1～15
やまねこパトロール・野生動物サポートグッズ結との共同企画「ヤマネコTシャツを買ってイリオモテヤマネコを守ろう!」結から29万2685円をJTEFにご寄附いただきました。

戸川久美著
「野生動物のためのソーシャルディスタンス」出版記念ウェビナー開催
参加者43名 2021.11.14 [online](#)

クラウドファンディング

2021.11.21～12.20
寅年に向けてトラ保護強化へ山火事の拡大防止用葉っぱを吹き飛ばすリーフブローアード金として41万6280円をご寄附いただきました。

多摩動物公園の干支展に、トラ保護ポスターを展示
2022.1

第4回JTEF「寅年オンラインイベント」開催
参加者37名 2022.1.22 [online](#)

3年ぶりのアースデイ東京に参加
2022.4.16～17

トラがずっと野生で生きながらえることを祈って、グッズや寄付で応援して下さった方たちが精進を足して元気なトラになりました。



イリオモテヤマネコの日記念オンライン講座「知ろう!学ぼう!イリオモテヤマネコ」
後援:環境省、竹富町
参加者22名 2022.4.23 [online](#)

JTEF第5回オンラインイベント「野生動物を守るには」開催
参加者43名 2022.4.30 [online](#)

横浜市立金沢動物園イベント「Save the Animals～わたしたちの仲間が減っている～」に参加

2022.5.3～4
日本一牙の長いオスゾウのいる金沢動物園のイベントに参加。JTEF坂元事務局長の特別インタビュー動画を園内で流しグッズ販売も好調でした。



上野動物園で「国際トラの日」イベント:「未来のためにトラ保護にトライ!」

2022.7.29～31
猛暑、コロナ禍のために3年ぶりのイベントが3日にわたり開催。JTEFオリジナルポスターを読んで答えるトラ保護クイズも実施。上野動物園のインスタライブでもJTEFのパネルや活動を紹介しました。



2022年世界ゾウの日イベント「ゾウレンジャー養成講座」

金沢動物園とコラボで実施
2022.8.6
横浜市立金沢動物園と、ゾウの日イベントとして小学4、5、6年生を対象に「ゾウレンジャー養成講座」を実施。12人が参加。ゾウを集中的に観察しゾウのすごさ、親しみを再認識。野生のゾウの暮らしや生態、脅威なども知り、私たちが何をすべきか、考えました。



上野動物園で「世界ゾウの日」

ブース出展
2022.8.12
上野動物園で「世界ゾウの日」ブース出展の様子。



金沢動物園で「世界ゾウの日」

ブース出展
2022.8.12
金沢動物園で「世界ゾウの日」ブース出展の様子。



井の頭自然文化園「ヤマネコ祭り」出展
2022.10.29～30

JTEFの賛同者

- 相澤登喜恵さん(動物肖像画家)
- 新井晴みさん(俳優)
- 池田卓さん(シンガーソングライター)
- 井上奈奈さん(現代アーティスト)
- 岩田好宏さん(子どもと自然学会顧問)
- 牛越峰統さん(一般社団法人日本プロサーフィン連盟名誉顧問)
- 大森享さん(元北海道教育大学教授)
- 岡田彰布さん(阪神タイガース監督(2023～)、野球評論家)
- 小川潔さん(東京学芸大学名誉教授)
- 加藤登紀子さん(シンガーソングライター)
- 蟹江杏さん(版画家)
- 見城美枝子さん(青森大学副学長・エッセイスト)
- 巨勢典子さん(作曲家・ピアニスト)
- 小林裕児さん(画家)
- 榎藤真禎さん(元社団法人兵庫県自然保護協会理事長、元神戸市立王子動物園園長)
- 坂本美雨さん(ミュージシャン)
- 沢田研二さん(歌手)
- 瀬木貴将さん(ミュージシャン、JTEF野生動物親善大使)
- 田中豊美さん(動物画家)
- 田中裕子さん(俳優)
- 田畑直樹さん(公益財団法人日本動物愛護協会理事長)
- 土居利光さん(前恩賜上野動物園園長、日本パンダ保護協会会長)
- 並木美砂子さん(帝京科学大学特任教授)
- 根本美緒さん(フリーキャスター・天気予報士)
- 南ぬ風人まーちゃんうーぼーさん(三線アーティスト)
- ヒサクニヒコさん(漫画家)
- 平岩弓枝さん(作家)
- 福井崇人さん(アートディレクター)
- 福田豊さん(恩賜上野動物園園長)
- 藤木勇人(志いさー)さん(作家)
- 古沢広祐さん(國學院大學研究開発推進機構客員教授)
- 前川貴行さん(動物写真家)
- 松田陽子さん(シンガーソングライター)
- 水野雅弘さん(株式会社TREE代表・プロデューサー)
- 三石初雄さん(東京学芸大学名誉教授)
- 宮下実さん(ときわ動物園名誉園長、元近畿大学教授、大阪市天王寺動物園名誉園長)
- 村田浩一さん(公益社団法人日本動物園水族館協会会長、日本大学生物資源科学部特任教授)
- 森川純さん(酪農学園大学名誉教授)
- 山極壽一さん(総合地球環境学研究所所長、前京都大学総長/進化論・生態学・環境生物学・動物学)
- 山崎薫さん(学校法人ヤマガキ学園理事長)
- 吉野信さん(動物自然写真家)
- 渡辺貞夫さん(ミュージシャン)

五十音順

JTEFへの

サポートのご継続をお願いします!

JTEFの活動は、皆さまからのご寄附で支えられています。野生動物と私たちの豊かな自然環境を守るために、ぜひ私たちの活動をご支援ください。

～年間サポーター費・随時寄附のお支払方法～

JTEFのウェブサイトから、クレジットカードで簡単にご寄附いただけます。

www.jtef.jp または「トラゾウ」検索

郵便振替でもご寄附いただけます。

ゆうちょ銀行
口座番号: 00170-7-355897
加入者名: トラ・ゾウ保護基金



認定NPO法人 <http://www.jtef.jp/>
トラ・ゾウ保護基金

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-4 末広ビル3F
Tel: 03-3595-8088 Fax: 03-3595-8090
E-mail: hogokikin@jtef.jp <https://www.jtef.jp/>
郵便振替口座: ゆうちょ銀行 口座番号)00170-7-355897
加入者名) トラ・ゾウ保護基金

保護基金通信 期末特別号
トラ保護基金 vol.40 / ゾウ保護基金 vol.37
イリオモテヤマネコ保護基金 vol.26
2022年10月31日発行
発行人・編集: 戸川久美